

「戊辰戦争と北関東の戦場」に関する本



『戊辰戦争の新視点 上下』

(奈倉哲三／編 保谷徹／編 箱石大／編 吉川弘文館 2018) 【210.6/ホ/18】

国際法に従った戦争遂行や政治秩序の再編，キリスト教政策など，国際的状況下の内戦に焦点をあてる。また，戦争の現場ではいったいなにが起こっていたのか。陸戦の軍備や編制，海軍力，戦費調達，民衆の支援や反発，宗教政策など，新視点で実態に迫る。

★講師著作

『戊辰戦争 戦争の日本史 18』

(保谷徹／著 吉川弘文館 2007) 【210.6/ホ/07】

軍事革命を遂げた新政府軍の武力倒幕は戦争をどう変えたのか。戦争に動員されたヒト・モノ・カネの実態に迫り，戊辰戦争を軍事史的な観点から明らかにする。

★講師著作

『戊辰戦争の史料学』

(箱石大／編 勉誠出版 2013) 【210.6/ハ/13】

明治政府編纂の史料集「復古記」やその編纂材料を精査すると，今までとは違った戊辰戦争像が浮かび上がる可能性が出てきた。諷刺文芸・新聞など様々な史料にも着目し，戊辰戦争を多角的に解明する方法を模索する。

★講師著作

『幕末・戊辰戦争』

(金子常規／著 中央公論新社 2017) 【210.5/カ】

幕末に起きた外国船との戦闘から戊辰戦争まで，戦争の攻略陣形図を総覧し戦闘の経過を詳述。さらに各藩の兵員・装備・軍制を分析し，新政府軍と旧幕府軍の相異を明らかにしつつ，「史上最大級の内乱」を軍事学の観点から解説する。

『戊辰戦争全史 上下』

(菊地明／編 伊東成郎／編 戎光祥出版 2018) 【K200.6/キ】

改訂新版。上巻では鳥羽・伏見，箱根，南関東，北関東，日光口，飯山，北越，東北の戦いを，下巻では会津，箱館の戦いを取り上げる。

『下野の戊辰戦争』

(大嶽浩良／著 下野新聞社 2004) 【K200.6/才】

宇都宮城の攻防をはじめ，栃木県内で繰り広げられた新政府・旧幕府両軍の戦いについて，写真と図版を用いビジュアル的にわかりやすく解説。

『北関東戊辰戦争』

(田辺昇吉／著 松井ピ・テ・オ印刷 1985) 【K200.6/タ】

梁田の戦い（足利）から小山・壬生・宇都宮・大田原・日光地区まで，栃木県内の戊辰戦争について記述。

『戊辰戦争』

(大町雅美／著 雄山閣出版 1968) 【K200.6/才】

栃木県内の攻防戦のほか，諸藩内の政局・党争，同時期に起きた農民一揆などについても述べている。

『戊辰戦争―慶応4年下野の戦場―』

(栃木県立博物館 2012) 【K200.6/ト】

同タイトル企画展図録。戊辰戦争に関する様々な資料を多数掲載。

『栃木県立文書館 研究紀要 第5号』

(栃木県立文書館 2001) 【K010/ト/5】

大嶽浩良著「下野の戊辰戦争と民衆」。新政府・旧幕府両軍と地域民衆の関係を探り，民衆にとっての戊辰戦争の意味について論じている。

『下野の明治維新』 (大嶽浩良／著 下野新聞社 2014) 【K200.6/オ】
栃木県幕末・維新时期研究の決定版。戊辰戦争については、黒羽藩の軍事力や民衆から見た戊辰戦争について述べている。

『宇都宮藩を中心とする戊辰戦史』 (小林友雄／著 宇都宮観光協会 1970) 【K210/コ】
栃木県内の戦況のほか、官修墓地など戊辰戦争後の戦死者の供養・顕彰についても触れている。

『宇都宮市史 6 近世通史編』 (宇都宮市史編さん委員会／編 1982) 【K210/ウ】
宇都宮市の歴史を調べるための基本資料。第6章「幕末宇都宮藩の活動」第5節「戊辰戦争」に宇都宮城の攻防戦や宇都宮藩兵の会津若松城戦参戦などの記述がある。

『宇都宮市史 5 近世史料編 2』 (宇都宮市史編さん委員会／編 1982) 【K210/ウ】
第6章第5節に、宇都宮藩の戊辰戦争に関する記録を掲載。

『天地人 2016年12月号』 (宇都宮商工会議所 2016) 【K200.6/ウ】
宇都宮商工会議所の会報。特集記事として、宇都宮の戊辰戦争について簡潔に紹介。

『宇都宮の先人墓所』 (宇都宮市教育委員会社会教育課／編 宇都宮市教育委員会 1970) 【K202.1/ウ】
宇都宮市内寺院の戊辰戦争戦死者の墓や、六道辻・幕田の戦死墓について紹介。

『明治維新と日光 戊辰戦争そして日光県の誕生』 (柴田宜久／著 随想舎 2005) 【K200.6/シ】
旧幕府軍は日光の占拠を図る。なぜ、日光地方は戊辰戦争に巻き込まれたのか、どのように戦争は展開したのか。日光山の天台宗組織や日光奉行所がどのような立場をとり対応したか、明らかにする。

『戊辰秘話日光山麓の戦』 (田辺昇吉／著 板橋文化財保護協会 1977) 【K221/タ】
軍夫や農兵としての徴用、村の焼き払いなど、多くの民衆が巻き込まれ犠牲になった日光地方の戊辰戦争について、戦争経験者の子孫から聴取した伝聞もおりまぜて記述。

『写真集戊辰戦争 日光山麓の戦い』 (今市市歴史民俗資料館 1988) 【K200.6/イ】
日光山麓で繰り広げられた戊辰戦争をテーマにした企画展の図録。

『那須の戊辰戦争』 (北那須郷土史研究会／編 下野新聞社 1992) 【K260/キ】
大田原城・三斗小屋・片府田・佐良土の戦い、塩原や那須山麓の村々の焼き払い、黒羽藩に徴用された軍夫・農兵等、那須地方の戊辰戦争について記述。

『芳賀町の歴史読本 近世・近現代編』 (芳賀町生涯学習課 2005) 【K232/ハ】
芳賀町史の歴史講座講義録。大嶽浩良著「芳賀町にかかわる戊辰戦争と西南戦争」。

館内閲覧のみの資料も含まれています。
この他にも資料がありますので、図書館職員に
お気軽にご相談ください。

宇都宮市立中央図書館
〒320-0845
宇都宮市明保野町7番57号
TEL: 028-636-0231 FAX: 028-639-0740
9:30~19:00 (金曜休館)
